

専門職員・会計年度任用職員・臨時職員 (パート職員も含む)

本指標は、保育の方向性や求められている役割を示すとともに、保育者や専門職員(看護師・栄養士・調理師等)の意欲向上をめざして作成しています。保育者については、担当業務を2つに分けています。職務や保育経験年数等に応じて、各園で相談の上、ご活用ください。

担当業務	学級担任等	学級担任補佐等	専門職員
	学級担任・預かり保育の担任など、集団指導の主査としての役割を担う者	学級での保育や預かり保育・延長保育などの補佐にあたる者(子育て支援員など、保育士資格等をもっていない者も含む)	専門的な技能を生かして保育の補佐や幼児の園生活の支援を行う者(看護師、栄養士、調理員など)
	指針における5つの柱		
	観点 キーワード		
	保育者としての必要な基礎的素養・指導技術を習得するとともに、教育・保育目標のもと、職員の一員として協働しながら、学級経営等における実践的指導力を身に付ける。		
	保育者としての必要な基礎的素養・指導技術を習得するとともに、教育・保育目標のもと、職員の一員として学級担任等と協働しながら、実践的指導力を身に付ける。	保育者としての必要な基礎的素養・指導技術を習得するとともに、教育・保育目標のもと、職員の一員として、業務を遂行する実践力を身に付ける。	担当業務における専門的な技術及び園業務にあたる者としての必要な基礎的素養を習得するとともに、教育・保育目標のもと、職員の一員として、業務を遂行する実践力を身に付ける。

職員に必要な素養に主として関するもの

素養	豊かな人間性、創造力、寛容性、人権意識		よりよい社会の実現に向け、自他の価値を尊重し、自らの人間性や創造性を高めることができる。	
	前向きな姿勢、向上心、適応力		幼児教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、学び続けることができる。	
園運営・職員連携	教育的愛情、幼児理解、判断力		幼児に対する深い理解と教育的愛情を有し、幼児の成長や発達を支援することができる。	
	専門的知識・技能、指導力、構想力		幼児教育に関する専門的知識・技能、実践的指導力を有し、幼児の主体的な活動を支援することができる。	
健康・安全への対応	社会性、協調性、コミュニケーション力		組織の一員として、園内外の多様な人材、家庭や地域、関係機関等と連携・協働を図ることができる。	
	使命感、責任感、倫理観		社会人としての倫理観、及び法令遵守の精神を有し、責任のある言動をとることができる。	
子育ての支援	健康・安全への対応	危機管理・安全対策	保育中の事故や災害等に関する安全への知識及び意識を高め、マニュアル等に則り、安全管理及び安全指導等、危機の未然防止に努めている。	
		感染症対策・衛生管理	健康状態や発育・発達状態の把握に努め、適切な環境の維持及び衛生管理、感染症対策・疾病等への対応を行っている。	
組織として連携・協働	子育ての支援	食育の推進	食育計画等に基づき、生活や遊びの中で意欲をもって食に関わる体験を行うとともに、食物アレルギー等への適切な対応をしている。	
		保護者への子育ての支援	保育の専門家として保護者の相談に応じるなど、保護者の主体性や自己決定を尊重しながら信頼関係を築いている。	
組織として連携・協働	子育ての支援	地域における子育ての支援	地域における子育てのセンター的機能について理解し、情報提供や相談に対応するなど、保育の専門家として地域の子育ての支援に関わっている。	
		チームマネジメント(分掌業務・同僚性)	職員の一員としての役割や責任を自覚し、管理職及び職員との連携のもと、主体的に職務を遂行している。	
組織として連携・協働	組織として連携・協働	地域社会や関係機関との連携・協働	地域社会や関係機関との連携の必要性を理解するとともに、協力を得ながら保育を実践している。	
		業務改善 ICT等による業務の効率化	働き方改革の目的を理解し、ICTの効果的な活用等による業務の効率化を進めている。教育・保育目標の達成に向けて管理職及び同僚と協働しながら取り組むとともに、取組の継承を意識しながら業務を遂行している。	

幼児理解に主として関するもの

幼児理解	幼児の発達等の理解		幼児の興味・関心、よさや可能性等の把握に努めるとともに、一人一人の発達に必要な体験を担任と連携して考えている。	
	幼児の発達・接続・地域資源等を考慮した指導計画の作成・作成支援及び共有		幼児の興味・関心、よさや可能性等の把握に努めるとともに、一人一人の発達に必要な体験を担任と連携して考えている。	
保育実践	幼児理解や指導計画に基づいた保育の実践		幼児理解をもとに信頼関係を築くとともに、友達と関わりながら安心して自己発揮できる集団づくりに努めている。	
	幼児理解・指導計画に基づいた評価の実施		記録等を生かした評価指導計画の改善	

保育実践に主として関するもの

保育実践	教育・保育目標に基づいた指導計画等の作成		教育・保育目標のもと、職員と連携し、発達・接続・地域資源等を考慮した指導計画を作成し、共有している。	
	幼児理解や指導計画に基づいた保育の実践		指導計画をもとに環境の構成の工夫や教材研究に努め、主体性を発揮できる保育を職員と連携して行っている。	
保育実践	幼児理解・指導計画に基づいた評価の実施		記録等から幼児の発達や自らの指導を振り返り、ねらい及び内容・環境の構成等について検討し、指導計画の改善に生かしている。	
	幼児理解・指導計画に基づいた評価の実施		記録等から幼児の発達や自らの指導を振り返り、ねらい及び内容・環境の構成等について検討している。また、評価を担任と共有し、指導計画の改善に生かしている。	

特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応に主として関するもの ※は、「幼児理解」「保育実践」を個に応じて行うものとして位置づけたもの

幼児理解	特別な配慮や支援を必要とする幼児への理解と支援		幼児の実態(特性や教育的ニーズ)の把握「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等の作成・作成支援及び共有	
	特別な配慮や支援を必要とする幼児への理解と支援		特別な配慮や支援を必要とする幼児の特性等や「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等を理解し、担任等と連携しながら幼児や保護者に寄り添った指導・支援を行っている。	

ICTや情報・教育データの利活用に主として関するもの

※は、「幼児理解」「保育実践」「特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応」をより効果的に行うための手段として位置づけたもの

保育実践	ICTや情報・教育データの利活用		ICTの業務等への活用 ICTの活用による教育実践や子どもの学びの見える化 情報・教育データの活用	
	ICTや情報・教育データの利活用		ICT活用の意義を理解し、ICTの活用に関する基礎的な知識・技能を習得して保育や業務等に活用しようとしている。	

※「保育者」とは、幼稚園・認定こども園・保育所等に勤務する幼稚園教諭、保育教諭、保育士等の総称を示す。

※「園」とは、幼稚園・認定こども園・保育所等の総称を示す。

※「幼児教育」とは園種や設置者の違いに関わらず、全ての乳幼児を対象とした教育・保育を示す。

※「幼児」とは、施設に限らず、県内幼児教育・保育施設における全ての乳幼児のことを示す。

※「職員」とは、正規職員・会計年度任用職員・臨時職員(パート職員も含む)、専門職員(看護師・栄養士・調理員等)を含めた園内すべての者を示す。

※採用年数に限らず、保育経験年数や園における業務職務内容等に応じて、指標とするステージは園内で判断する。



鳥取県保育者キャリアガイドライン（改訂版）

～「遊びきる子ども」の育成をめざして～

乳幼児期の教育は、遊びを通して、子どもが自らの可能性を発揮し、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うものです。保育者という仕事は、子どもたちの笑顔や真剣なまなざしに出会い、その成長を傍で支えるやりがいや魅力を感じることができる、社会的にもかけがえのないものです。

本キャリアガイドラインは、鳥取県の保育者一人一人が、日々の保育実践を主体的・協働的に楽しみながら、自らめざす将来像を描き、その実現に向けた資質・能力及び専門性の向上と、キャリアアップに取り組んでいくことを願って作成しました。

活 用 例

指標とするキャリアガイドラインのキャリアステージは、採用年数に限らず、保育経験年数や園における職務内容等に応じて決定し、ご活用ください。

誇りとやりがいをもって
子どもたちと共に、遊び
自らの課題にチャレンジ
する保育者に



【各保育者は】

- ・めざす保育者像・将来ビジョンを描く際に
- ・自己評価の目標設定・振り返りの指標として
- ・園内・園外研修等の研修目的・内容等を確認する際に

【市町村・設置者は】

- ・採用・人材育成の指標・方向性を示すものとして
- ・キャリアステージに応じた研修項目・研修目的を定める際に
- ・研修計画立案の際に

【各園は】

- ・自己評価表作成の指標として（評価項目、取組指標、成果指標 等）
- ・面談等の資料として
- ・園内研修計画立案の際に
- ・園において重点目標等を検討する際に
- ・職種・キャリアに応じた人材育成の指標として



めざす姿、取り組んでみたいこと、園の一員として大切にしたいこと等を記入してください。

氏 名 _____



正規職員

鳥取県保育者キャリアガイドライン(改訂版)

キャリアステージ		キャリアスタート期 (保育者養成完成時・採用時)	育成期 (採用～5年)	向上期 (6年～10年)	充実期
指針における5つの柱 観点 キーワード	キャリアスタート期	保育者として求められる資質・能力の素地を身に付けている。	保育者としての必要な基礎的素養・指導技術を広く習得し、実践的指導力を身に付けるとともに、園組織の一員としての自覚を高める。	育成期の経験をもとに、保育実践や学級経営の専門的知識・技能を習得するとともに、得意分野の開発と実践的指導力の向上及び視野の拡大を図る。	向上期の経験をもとに、職務に関する専門性を一層高め、広い視点から園運営に積極的に参画するとともに、ミドルリーダー的立場としての力量及びマネジメント力を高める。
	充実期	充実期前期 (11年～15年)	充実期後期 (16年以降)		

職員に必要な素養に主として関するもの

素養	豊かな人間性、創造力、寛容性、人権意識		よりよい社会の実現に向け、自他の価値を尊重し、自らの人間性や創造性を高めることができる。
	前向きな姿勢、向上心、適応力		幼児教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、学び続けることができる。
素養	教育的愛情、幼児理解、判断力		幼児に対する深い理解と教育的愛情を有し、幼児の成長や発達を支援することができる。
	専門的知識・技能、指導力、構想力		幼児教育に関する専門的知識・技能、実践的指導力を有し、幼児の主体的な活動を支援することができる。
素養	社会性、協調性、コミュニケーション力		組織の一員として、園内外の多様な人材、家庭や地域、関係機関等と連携・協働を図ることができる。
	使命感、責任感、倫理観		社会人としての倫理観、及び法令遵守の精神を有し、責任のある言動をとることができる。
園運営・職員連携	健康・安全への対応	危機管理・安全対策	安全・危機管理等のマニュアルを理解し、より安全、安心に生活できる環境づくりをしている。
		感染症対策・衛生管理	感染症対策や疾病等の対応について、正しい知識を習得している。
		食育の推進	食育計画等に基づき、食に関わる体験等を創意工夫して行うとともに、食物アレルギー等への適切な対応の仕方を習得している。
	子育ての支援	保護者への子育ての支援	子育ての支援の重要性を理解している。
		地域における子育ての支援	地域における子育ての支援のセンター的役割等を担っていることを理解している。
	組織として連携・協働	チームマネジメント(分掌業務・同僚性)	組織の一員として職員と連携・協働して、様々な職務を行うことを理解している。
		地域社会や関係機関との連携・協働	地域社会や関係機関との連携・協働について、重要性を理解している。
		業務改善 ICT等による業務の効率化	ICTの効果的な活用等による業務の効率化について理解している。
	園の発展・向上	園の発展・向上	園の発展・向上のために、主体的に学びの場を求め職務に励んでいる。
		園の発展・向上	園の発展・向上のために、主体的に学びの場を求め職務に励んでいる。

幼児理解に主として関するもの

幼児理解	幼児の発達等の理解		幼児期の発達について基礎的知識を習得している。
	幼児の興味・関心の把握		幼児の興味・関心を把握し、幼児のよさや可能性等の理解のもとに必要な体験を考えている。
幼児理解	一人一人に寄り添った関わり		幼児理解に基づいた学級経営について基礎的知識を習得している。
	発達に応じた集団づくり		教育・保育目標や幼児の実態等に合わせた集団づくりを考えている。

保育実践に主として関するもの

保育実践	教育・保育目標に基づいた指導計画等の作成		幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針に基づき作成される全体的な計画、指導計画について基礎的知識を習得している。
	環境の構成の工夫		環境の構成の工夫や教材研究のあり方等について、基礎的知識を習得している。
	記録等を生かした評価		幼児の発達を捉えた幼児理解、指導計画に基づいた評価や記録の仕方について、基礎的知識を習得している。

特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応に主として関するもの

幼児理解	特別な配慮や支援を必要とする幼児への理解と支援		特別な配慮や支援を必要とする幼児の実態(特性や教育的ニーズ)の把握「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等の作成・作成支援及び共有の実態等に応じた指導・支援
	特別な配慮や支援を必要とする幼児への理解と支援		特別な配慮や支援を必要とする幼児の実態(特性や教育的ニーズ)の把握「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等の作成・作成支援及び共有の実態等に応じた指導・支援

ICTや情報・教育データの活用について主として関するもの

幼児理解	ICTや情報・教育データの活用		ICT活用の意義を理解し、ICTの活用による教育実践や子どもの学びの見える化情報・教育データの活用
	ICTや情報・教育データの活用		ICT活用の意義を理解し、ICTの活用による教育実践や子どもの学びの見える化情報・教育データの活用

管理職

～「遊びきる子ども」の育成をめざして～

観点		職	教頭・副園長・副所長 園長補佐・所長補佐	園長・所長 施設長
素 養	キーワード			
	豊かな人間性、寛容性、人権意識		よりよい社会の実現に向け、園の役割を認識するとともに、社会人として広い視野と深い洞察力、豊かな人間性を有し、自他の価値を尊重している。	
	発想力、創造力、対応能力		幼児教育を取り巻く環境の変化や生じた課題を多角的に捉え、その解決に向けた柔軟な発想力と対応能力を有している。	
	幼児理解、教育的愛情、判断力、実践力		幼児に対して深い理解と教育的愛情をもって接し、幼児の成長や発達を支援することができるとともに、的確な判断力や意欲的に行動する実践力を有している。	
	教育に関する知見、指導力及び管理職としての専門性		教育全般に関する知見や経験、実践的な指導力を有し、幼児の主体的な活動を支援することができるとともに、園運営に関して、職員に的確な指導を行うなど、人材を育成する力や組織を動かす力を有している。	
	社会性、協調性、コミュニケーション力		組織のリーダーとして、園内外の多様な人材、家庭・地域や関係機関等と連携・協働を図る力を有している。	
	使命感、責任感、倫理観		社会人としての倫理観及び法令遵守の精神を有している。	
園 経 営	理念・ビジョン			
	明確な教育・保育理念		将来を担う幼児の心身ともに健全な育成に向けて、教育的識見に基づく明確な教育・保育理念を理解し、園の中心となって推進しようとする。	将来を担う幼児の心身ともに健全な育成に向けて、教育的識見に基づく明確な教育・保育理念を有し、園の中心となって推進している。
	園経営ビジョンの構築		教育・保育改革の動向や今日的な課題を認識し、自園における教育・保育目標達成に向けた具体的な方策を立て、経営ビジョンや経営戦略等の実現に向けて積極的に実践している。	教育・保育改革の動向や今日的な課題を認識し、自園における適切な教育・保育目標を設定するとともに、その目標達成に向けた総合的な経営ビジョンや経営戦略を構築し、周知している。
	園の内外環境に関するアセスメント (情報の収集・整理・分析と共有)		今日的な課題や幼児の実態、教育データ等の情報を収集した上で整理・分析し、関係者と共有を図りつつ、園としてのめざす方向性や園の教育活動について理解し、職員とともにランドデザインや全体的な計画を作成している。	今日的な課題や幼児の実態、教育データ等の情報を広く収集した上で的確に整理・分析し、関係者と共有を図りつつ、園としてのめざす方向性や園の教育活動を明確にし、職員とともにランドデザインや全体的な計画を定めている。
	教育力を高めるファシリテーション (園内外の関係者との相互作用の創出)		様々な経験や専門性をもった職員のそれぞれの強みや適性等を生かした園経営への参画を促す工夫や雰囲気醸成を行っている。	様々な経験や専門性をもった職員のそれぞれの強みや適性等を生かした園経営への参画を促す工夫や雰囲気醸成を行っている。
	判断力と決断力・リーダーシップ・調整力		園と保護者や地域等との熟議や話し合いを通して目標やビジョンを共有し、相互に連携・協働しながら幼児の育成及び園の特色化・魅力化に取り組んでいる。	園と保護者や地域等との熟議や話し合いを通して目標やビジョンを共有し、相互に連携・協働しながら幼児の育成及び園の特色化・魅力化に中心となって取り組んでいる。
園 管 理 運 営	園の危機管理		危機管理体制(各種マニュアル等)を把握し、園長と共に危機の未然防止策を講じている。また、危機発生時には幼児の安全確保に向けて迅速かつ的確な対応を職員とともに進めている。	危機管理体制(各種マニュアル等)を把握し、教育活動や施設等園全体を広く見渡す視点に立って危機の未然防止策を講じている。また、危機発生時には幼児の安全確保に向けて迅速かつ的確な対応を行うとともに、必要に応じて保護者や地域等への説明を適切に行っている。
	園全体の保育改善・質の向上の推進 (適正な学校評価・園評価の活用)		教育・保育目標達成のため、カリキュラム・マネジメントと関連付けながら取組の方向性を伝えたり、具体的な改善・充実の手立てを考へたりするなど、全職員をリードし、組織的・計画的に教育活動の質の向上を図っている。	教育・保育目標達成のため、カリキュラム・マネジメントと関連付けながら自己評価を中心とした適正な学校評価・園評価を実施し、全職員の協力体制の下、組織的・計画的に教育活動の質の向上を図っている。
	ふるさとキャリア教育の推進 (地域とともにある幼児教育の推進)		自然・文化など地域の人的・物的資源を活用し、地域の人々との結び付きを強める教育活動を職員と共に実践し、地域とともにある園づくりを進めている。	自然・文化など地域の人的・物的資源を活用し、地域の人々との結び付きを強める教育活動を行い、地域とともにある園づくりを進めている。
	特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応 (関係機関との連携)		特別な配慮や支援を必要とする幼児の特性等を理解し、園全体として組織的に幼児一人一人の教育的ニーズに応じた生活上の支援を工夫するとともに、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等に基づき、保護者及び小学校等、関係機関との密接な連携を図るための連絡調整等の中心的役割を果たしている。	特別な配慮や支援を必要とする幼児の特性等を理解し、園全体として組織的に幼児一人一人の教育的ニーズに応じた生活上の支援を工夫するとともに、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等に基づき、保護者及び小学校等、関係機関との密接な連携を図る体制を構築している。
	関係機関・者との連携・協働		様々な機会や手段を活用して園の情報を発信し、連携・協働した教育活動をとおして、幼児の育ちや学びをつなぐために、園と小学校等や地域の関係機関・関係者との連携・調整を図っている。	小学校等や地域の関係機関・関係者に対して、様々な機会や手段を活用して園の情報を発信し、連携・協働した教育活動をとおして、幼児の育ちや学びをつなぐ体制を構築し、周知している。
	ICTや情報・教育データの利活用		園におけるICTの活用の意義を理解し、保育や業務等でのICTの効果的な活用や情報・教育データの適切な活用を推進している。	園におけるICTの活用の意義を理解し、保育や業務等でのICTの効果的な活用や情報・教育データの適切な活用の推進に向けた体制を構築している。
職 員 管 理	子育ての支援の充実		園全体で役割分担等しながら、組織として保護者への子育ての支援を実施する中心的役割を担っている。	保護者に対する子育ての支援において、地域の関係機関との連携及び協働を図り、園全体の体制構築に努め、保護者の自己決定を尊重した子育ての支援を行っている。
	・保護者への子育ての支援		園の特色、地域の実態やニーズに応じた子育て支援計画の作成・実践・情報発信等、地域に開かれた子育て支援に関する活動の中心となっている。	園の特色、地域の実態やニーズを把握し、関係機関等との積極的な連携及び協働を図り、地域に開かれた子育て支援に関する活動の充実を行っている。
	・地域における子育ての支援			
	職員との信頼関係		自らが自身の人間性を高めることに努めている。また、職員が思いや悩み事を相談しやすい雰囲気をつくり、日常的に声をかけるなど連絡・調整の中心となり、職員との適切な信頼関係を構築している。	自らが自身の人間性を高めることに努めている。また、職員それぞれの個性や能力、適性等を理解し、職員が思いや悩み事を管理職に相談しやすい雰囲気をつくるなど風通しのよい職場づくりに努めることで、職員との適切な信頼関係を構築している。
人 材 育 成 ・ 組 織 の 活 性 化	職員の健康管理とメンタルヘルスクエ (勤務状況の把握)		職員の日常の勤務状況等を把握し、園長と連携して適切に業務分担並びに業務改善を行った、適宜相談に応じたりするなど、職員の健康管理(メンタルケア)を把握するよう努めている。また、職員が意欲的かつ自主的に職務に専念できるような職場環境づくりに努めている。	職員の日常の勤務状況等を的確に把握し、適切に業務分担並びに業務改善を行った、適宜相談に応じたりするなどの配慮をとおして、職員の健康管理(メンタルケア)に努めている。また、職員が意欲的かつ自主的に職務に専念できるような職場環境づくりに努めている。
	職員の資質向上 (適正な評価と人材育成)		職員が主体的に設定した目標の達成に向けて、法令を遵守しながら意欲的に取り組むことができるよう、園長と共に指導助言を行っている。また、研修等とおして、職員の人材育成及び資質・能力の向上を図っている。	職員が主体的に設定した目標の達成に向けて、法令を遵守しながら意欲的に取り組むことができるように指導助言を行っている。また、職務遂行状況(能力や実績)を職員の育成段階に応じて公正かつ適正に評価することをおして、職員の人材育成及び資質・能力の向上を図っている。
	職員の連携・協働体制の構築		幼児や保護者への対応、地域等との連携などの様々な課題に対して、職員が課題やトラブルを一人で抱え込むことがないよう、同僚性を高め、職員の連携・協働の中心的役割を果たしている。	幼児や保護者への対応、地域等との連携などの様々な課題に対して、職員が課題やトラブルを一人で抱え込むことがないよう、同僚性を高め、職員の連携・協働体制を構築している。

※「保育者」とは、幼稚園・認定こども園・保育所等に勤務する幼稚園教諭、保育教諭、保育士等の総称を示す。
 ※「園」とは、幼稚園・認定こども園・保育所等の総称を示す。
 ※「幼児教育」とは、園種や設置者の違いに関わらず、全ての乳幼児を対象とした教育・保育を示す。
 ※「幼児」とは、施設種に限らず、県内幼児教育・保育施設における全ての乳幼児のことを示す。
 ※「職員」とは、正規職員・会計年度任用職員・臨時職員(パート職員も含む)・専門職員(看護師・栄養士・調理員等)を含めた園内すべての者を示す。
 ※採用年数に限らず、保育経験年数や園における業務職務内容等に応じて、指標とするステージは園内で判断する。

